

はじまるよ！

かん こまえアレルギー缶バッジ

アレルギーのある
お子さんを守るために
周りの大人の協力が
大切です！



どんな人が使うの？

食物アレルギーなどのアレルギー疾患がある人のための缶バッジです。

自分で「アレルギーがあること」を周りの人に伝えるのが難しい、乳幼児や

小学生を対象にしています。希望される方に無償で提供しています。

*アレルギーのある方が、必ず使わなければいけないものではありません。

お子さんへ

なるべく沢山のの人に使ってもらいたいの
ので、もらえるのはひとり1つです。

このバッジを使うかどうかは、お家の
人と相談して自分で決めてください。

大人の方へ

この缶バッジをつけているお子さんはア
レルギー疾患があります。必ず保護者
の方や本人に「何のアレルギーがあるの
か」「気を付けること」などを確認して
ください。

缶バッジを受け取れる場所

*狛江市役所 防災センター2階 安心安全課窓口

*各避難所（災害時）受付

お問い合わせはコチラ⇒komae.oyakobousai@gmail.com

もしくは狛江市役所安心安全課 03-3430-1111（代表）まで



*全ての保護者の方へ*アレルギーについて*

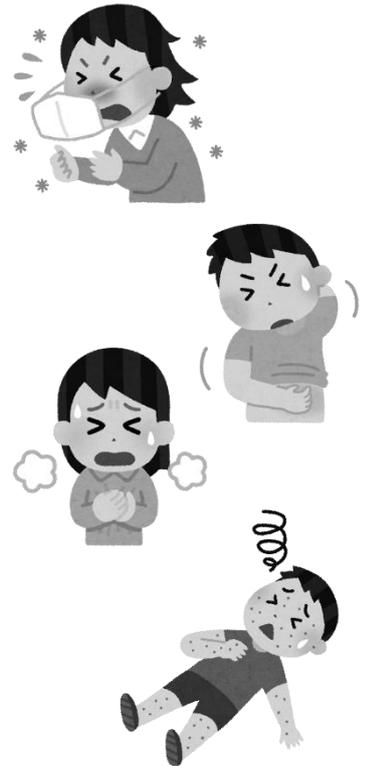
アレルギーって？

私たちの体には、細菌・ウイルス・寄生虫などの感染性微生物や異物などから、身を守るための「免疫」という仕組みがそなわっています。この免疫の働きが、現代文明による環境やライフサイクルの変化によって異常を起こし、くしゃみ、発疹、呼吸困難などの症状を起こしてしまう状態が「アレルギー」です。

アレルギー疾患には、食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎（花粉症を含む）、アレルギー性結膜炎、気管支喘息（ぜんそく）、薬剤・昆虫アレルギーなど…症状・経過とも多様な疾患が含まれます。

（国立成育医療センターHP より／[アレルギーについて](http://ncchd.go.jp) | 国立成育医療研究センター (ncchd.go.jp)）

食物アレルギーは外見からは判断できません。しかし原因となる食品を触っただけ、近づいただけでも症状が悪化し、命の危機にさらされる人もいますのです。



なぜ缶バッジが必要なの？

混乱が生じやすい避難所で、善意による事故が多発しています。災害時だけでなく日常生活の中でも、子どもの近くに保護者がいないタイミングで、アレルギーがあることを知らない人から“善意”で食べ物をもらう機会があるかもしれません。

そんな時、自分の言葉で「アレルギーがあります」と伝えられない子どもたちを守るため、この缶バッジは誕生しました。周りの大人に「アレルギーがある」ことに気付いてもらい、事故を防ぐのが目的です。

アレルギーがある子なんだ！
一度保護者に確認しよう！



どうやって使うの？

通園・通学に使っている鞆や、災害時用のお子さんの防災リュックなどに付けてください。

57mmと大きめな缶バッジです。安全ピンの取り扱いにはご注意ください。

使用イメージです



アレルギー疾患を知らせることについて

内閣府が平成25年8月に『避難所における良好な生活環境の確保に向けた取り組み指針』を公表しました。その中で、避難所において食物アレルギーの避難者に対し、原材料の表示やアレルギー対応食品の備蓄などの配慮をすること、避難者自身によるアレルギーを起こす原因食品の情報提供を行うことが明記されています。

〈内閣府防災情報のページ〉

<http://www.bousai.go.jp/taisaku/hinanjo/h25/kankyokakuho.html>